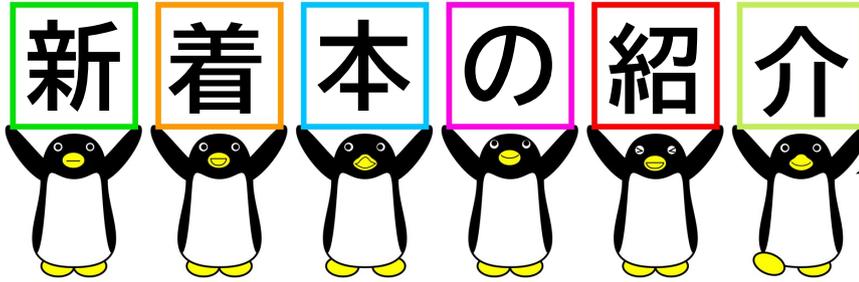


図書だより

2022



種子島中央高等学校図書館



夏休み中にたくさんの本が図書館に入りました！読書の秋到来です。一冊お供にいかがですか？

★はリクエスト本です。

【小説】	【その他】
・爆発物処理班の遭遇したスピン(佐藤究)	・木に学ぶ60の知恵(リズ・マーヴィン)
・運河の家 人殺し(ジョルジュ・シムノン)	・家族と自分のゆる弁(のん)
・棘の家(中山七里)	・やらかした時にどうするか(畑村洋太郎)
・三体(劉慈欣)	・気候危機がサクッとわかる本(森朗・森田正光)
・恋せぬふたり(吉田恵里香)	・柘太一が聞く科学の伝え方(柘太一)
・ラブカは静かに弓を持つ(安壇美緒)	・ある消防士の見聞録(加藤孝一)
・N/A(年森瑛)	・イヌは何を考えているか(グレゴリー・バーンズ)
・女人入眼(永井紗耶子)	・食品添加物はなぜ嫌われるのか(畝山智香子)
・爆弾(呉勝浩)	・あなたを閉じ込める「ずるい言葉」(森山至貴)
・夜に星を放つ(窪美澄) ←直木賞受賞作	・高校生・科学宣言パート14(中沢浩)
・ドグラ・マグラ(夢野久作)★	・絵と図でわかるデータサイエンス(上藤一郎)
・ムーミン谷全集[新版] (トーベ・ヤンソン)	・NFTの教科書(天羽健介)
・マカン・マラン(古市一絵)	・東京大学「ボーカロイド音楽論」講義(鮎川ぱて)
・おばちゃんたちのいるところ(松田青子)	・日本一バズる公務員(守時健)
・四畳半タイムマシンブルース(森見登美彦)★	・タガヤセ！日本(白石優生)
・ヘルドッグス(深町秋生)★	・お札に登場した偉人たち21人(河合敦)
・夏の終わりに君が死ねば完璧だったから★ (斜線堂有紀)	・失敗しないためのジェンダー表現ガイドブック (新聞労働ジェンダー表現ガイドブック編集チーム)
・したっぱエンジニア経営に成功して億万長者になる★ (里洋平)	・ヨーロッパ47カ国の歴史といまがわかるパノラマ 大地図帳(後藤武士)



このほかにも白書（環境，医療，男女共同参画）など多数排架しましたのでご活用ください。





よく「先生、何か面白い本ない〜？」と尋ねられるのですが、有ります！有ります!!
ミステリーがお好きならぜひ一度は読んでもらいたい作品の一つで、東野圭吾の「ガリレオシリーズ」はいかがでしょう。1冊で完結するのでどの順番からでも読めますが、前作を読んでいるとさらに楽しめるので、出版順にご紹介しますね！

■そもそも「ガリレオ」って誰？

ズバリ！このシリーズの主人公、天才物理学者・湯川学のことです。数々の不可思議な謎を科学的に解き明かす姿を称して、警察は彼を「ガリレオ」と呼びます。TVドラマや映画にもなり俳優の福山雅治さんが演じています。

■ぶっちゃけ、どれがオススメ？

出版順だと…

- ①「探偵ガリレオ」☆→②「予知夢」☆→③「容疑者Xの献身」→
- ④「ガリレオの苦悩」☆→⑤「聖女の救済」→⑥「真夏の方程式」→
- ⑦「虚像の道化師」☆→⑧「禁断の魔術」☆→⑨「沈黙のパレード」→
- ⑩「透明な螺旋」(☆…短編集)



☆マークが付いている作品は短編集なので気軽に読めます。中でもやはり、「全てはここから始まった」ともいえる第1作はおすすめです。

シリーズ初の長編。愛が生んだ悲劇。かつての親友・天才数学者石神が仕掛けたトリックだけでなく、登場人物の人間ドラマにページをめくる手が止まりません！



イチオシは「容疑者Xの献身」ですが、みなさんはどう思いますか？

～寄贈図書案内～

第24回島木赤彦文学賞受賞作品「近現代短歌語誌」が、その著者である鮫島満氏より寄贈されました。鮫島氏は中種子町の満足山出身で、昭和37年に中種子高等学校を卒業されています。

「近現代短歌語誌」では、明治以降に作られた短歌に出てくる辞書に載っていない言葉や、作者の造語などを取り上げて解説しています。新着図書のコーナーにあるので、興味がある人はぜひ。

